

令和4年10月4日

弾道ミサイル発射に関わる「Jアラート」情報受信時の対応について【改訂版】

帯広北高等学校

弾道ミサイル発射に関わる「Jアラート」が北海道地方に対して作動した場合、次の点に留意し、身の安全を守る行動を取るようしてください。

ただし、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下した場合は、安全が確認されるまで臨時休校とします。また、登校時間の繰り下げ、下校時間の繰り上げ、臨時休校等の判断がある場合には学校メール等にて連絡します。

1. 登校前の在宅中にミサイル発射情報（Jアラート発報）があった場合

Jアラート作動中は、自宅で待機する（窓から離れるか、窓のない部屋に移動する）。テレビ等で解除を確認し、安全が確認できたら通常どおり登校する。

2. 登校中（下校中）にミサイル発射情報（Jアラート発報）があった場合

- メッセージが流れたら、落ち着いて、直ちに以下の行動をする。

<屋外にいる場合>

近くの建物の中か、地下に避難。 ※できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになければ、それ以外の建物でも構いません。

<建物がない場合>

物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

<屋内にいる場合>

窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

<公共交通機関を利用している場合>

乗務員等の指示に基づく行動を取る。

解除後、安全に留意しながら登校（下校）する。

3. 在校時にミサイル発射情報（Jアラート発報）があった場合

<屋外にいる場合>

速やかに教室等の屋内に避難する。

<屋内にいる場合>

できるだけ窓から離れ、頭部を守る姿勢をとる。

解除後、安全が確認できたら教育活動を再開する。

※弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下した場合は、原則として学校の安全な場所で保護する。行政等による避難指示が継続している間は原則、保護者への引き渡しは行わない。